

2001年第9週報告分

- ・発生動向総覧／調査票通信
- ・全数届出患者数一覧表
- ・定点報告疾患集計表
- ・年齢階級別累計表
- ・保健所別累計表
- ・疾病別グラフ
- ・

2001年2月報告分

- ・発生動向総覧／調査票通信
- ・定点報告疾患集計表
- ・年齢階級別累計表
- ・保健所別累計表
- ・医療圏別累計表
- ・疾病別グラフ

感染症豆知識

- ・結核の再感染

東京都結核・感染症発生動向調査企画委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/

（全数情報）

細菌性赤痢 4 件はいずれもソネネ（推定感染地：インド 1 件、インド・タイ 1 件、フィリピン 1 件、インドネシア 1 件）であった。

腸管出血性大腸菌感染症 1 件は O157 VT2 の患者である。

アメーバ赤痢 2 件は同性間性的接触 1 件（推定感染地：国内）、経口感染 1 件（推定感染地：国内）であった。

オウム病 1 件は 33 歳女性で、ハトからの感染が疑われている。鳥は飼っておらず、同居者等に同様の症状の者はいない。

急性ウイルス性肝炎 1 件は国内での経口感染が推定されている A 型肝炎の 15 歳男性であり、症状としては全身倦怠感があった。

ジアルジア症 3 件はいずれも経口感染（推定感染地：インドネシア 2 件、ラオス 1 件）である。

ツツガムシ病 1 件は島しょから届出された。43 歳女性は 38 以上の発熱、リンパ節腫脹、虫刺し口があり、血清学的診断がなされた。

デング熱 1 件は、インドネシアでの感染が推定されている 26 歳男性で、発熱・関節痛があり、PCR 法でデングウイルス 2 型が検出された。

（推定される感染地域は、医師の届出によるものです。）

（定点情報）

インフルエンザは増加の傾きが鈍化し定点あたり 4.4 と先週に比べわずかに増えた。インフルエンザによる死亡者 1 名（65 歳男）が報告されている。

感染性胃腸炎、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎の報告が多い。

感染性胃腸炎の報告が 70 名を越えている定点がある。

風疹、麻疹の報告が増加している。

（病原体情報）

- ・ 定点病院から搬入された溶血性レンサ球菌 2 株の T 型は 1 と 4 型で、MRSA 6 株は全てコアグラ - ゼ 型であった。
- ・ 熱発、下痢を主症状とする幼児の集団発生事例 8 名の咽頭拭い液のうち 3 名から B 型インフルエンザウイルス遺伝子が検出され、1 名からは MRSA と G 群の溶血性レンサ球菌が検出された。
- ・ インフルエンザ、上気道炎の患者 8 名の咽頭拭い液から A ン連型インフルエンザウイルス 5 件、B 型インフルエンザウイルス 3 件が検出されている。そのうち 1 名からはアデノウイルスの遺伝子も検出されている。
- ・ 顔面神経痛、上気道炎、急性胃腸炎の患者 5 名の便、咽頭拭い液からアデノウイルス遺伝子が検出されている。
- ・ 発熱、扁桃腺炎の患者 3 名の咽頭拭い液の 1 件からアデノウイルス 2 型が、2 件から 3 型それぞれが分離された。
- ・ 頸部リンパ節腫脹、発疹、不明熱の患者 3 名の咽頭拭い液から EB ウイルスが検出された。

- ・突発性発疹患者の咽頭拭い液からヒトヘルペスウイルス6型が検出されている。
- ・感染性胃腸炎集団発生 11事例の検体 74件のうち5事例 17件からSRSVが、1事例 1件からロタウイルスが検出されている。
- ・多摩支所に搬入された感染性胃腸炎 5検体から病原体は検出されていない。
- ・多摩支所に搬入されたインフルエンザ疑い患者の咽頭拭い液 16件のうち4件からインフルエンザウイルスが検出された。内訳はAソ連型 1件 (府中 6歳男)、A香港型 1件 (武蔵村山 9歳男)、B型 2件 (立川 39歳女、13歳女)である。

(その他の情報)

インフルエンザ、上・下気道炎、脳症、痙攣、胃腸炎、伝染性紅斑の検体が搬入されている。

今冬季、衛生研究所の検査で検出されたインフルエンザウイルスは感染症発生動向調査定点からは58件でその内訳はAソ連型(AH1)23件、A香港型(AH3)15件、B型20件である。学校集団発生からは66件検出されており、その内訳はAソ連型(AH1)41件、A香港型(AH3)10件、B型15件である。

調査票通信

定点医療機関からのコメントを掲載

台東区

- ・10歳未満9名(男5、女4) ディレクティジェンFluA陽性例
- ・10歳以上9名(男4、女5) インフルエンザOIA陽性例

世田谷区

- ・近くの小学校2年生30人中 3日(土)に7名欠席、5名早退。
- ・近くの2か所の幼稚園でクラス閉鎖があったが、インフルエンザが疑われる。

大田区

- ・インフルエンザ様疾患は昨年既往あり。そのためか経過は短い。
- ・インフルエンザ様疾患患者15名(男9、女6)のうち、9歳男子以外はすべてインフルエンザOIAによって確認した。なお、4歳男子、6歳男子各1名はワクチン済み。
- ・インフルエンザOIA陽性者4名は保育園児とその親、中学生とその親のそれぞれ家族内感染であった。

品川区

- ・不明発疹症は全身麻疹様、中毒症様で、2/25から2/28にかけて39台、3/1は38、3/2は37の発熱があった。3/2からは全身発疹(37)が診られ、昭和大学病院へ転医した。

調布市

- ・狛江市立小 4年生：発熱、嘔吐の児童多発のため、学級閉鎖する(3月2日、3日)。
- ・学校の欠席者は目立たないが、家族でインフルエンザ様発熱がみられた。狛江市内小学校の8歳か9歳の児童。

府中市

- ・2月下旬から臨床的にインフルエンザ様疾患が多い感じ。

全数届出患者数一覧表 2001年9週

分類	疾病名	東京都分(報告週)				全国分(診断週)
		6週	7週	8週	9週	9週
一類	エボラ出血熱					
	クリミア・コンゴ出血熱					
	ペスト					
	マ-ルブルグ病					
	ラッサ熱					
二類	コレラ					
	細菌性赤痢	1	5	2	4	15
	腸チフス					1
	パラチフス					
	急性灰白髄炎					
ジフテリア						
三類	腸管出血性大腸菌感染症			1	1	16
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢	1	3	4	2	6
	エキノкокクス症					
	黄熱					
	オウム病			1	1	
	回歸熱					
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)	6	2	2	1	5
	Q熱					1
	狂犬病					
	クリプトスポリジウム症	1				
	クロイツフェルト・ヤコブ病					4
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1			
	後天性免疫不全症候群	8	6	6	9	13
	コクシジオイデス症					
	ジアルジア症	2	4		3	4
	腎症候性出血熱					
	髄膜炎菌性髄膜炎		1			
	先天性風疹症候群					
	炭疽					
	ツツガムシ病				1	
	デング熱				1	1
	日本紅斑熱					
	日本脳炎					
	乳児ポツリヌス症					
	梅毒	2	4	1		7
	破傷風					1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	1	1	
	ハンタウイルス肺症候群					
	Bウイルス病					
ブルセラ症						
発疹チフス						
マラリア	1	1			3	
ライム病						
レジオネラ症						

東京都分の集計は、医師からの追加届出により増加することがあります(2001/03/07集計)

定点報告疾病集計表（男女別）

疾病名	性	2001年 週				累計
		6	7	8	9	
インフルエンザ	男	182	246	397	401	1226
	女	138	188	323	388	1037
咽頭結膜熱	男		2	2	2	6
	女	1	4	1	2	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	54	26	44	44	168
	女	47	21	36	42	146
感染性胃腸炎	男	628	580	606	596	2410
	女	630	523	622	585	2360
水痘	男	90	76	84	75	325
	女	80	88	90	76	334
手足口病	男	3	6	6	5	20
	女	3	4	7	4	18
伝染性紅斑	男	38	25	30	26	119
	女	26	22	34	29	111
突発性発疹	男	25	21	35	37	118
	女	32	24	42	36	134
百日咳	男			1		1
	女			1		1
風疹	男		3	2	3	8
	女			2	3	5
ヘルパンギーナ	男	2	3	4	4	13
	女	3	1	3	4	11
麻疹(成人以外)	男	6	9	1	14	30
	女	6	2	4	6	18
流行性耳下腺炎	男	58	55	84	71	268
	女	55	55	64	71	245
不明発疹症	男	3	5	7	6	21
	女	4	3	3	4	14
MCLS	男		1			1
	女				1	1
急性出血性結膜炎	男		1		1	2
流行性角結膜炎	男	19	10	10	7	46
	女	7	13	13	5	38
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男			2		2
	女					
細菌性髄膜炎	男			1		1
	女			1		1
無菌性髄膜炎	男					
	女	1	1			2
マイコプラズマ肺炎	男					
	女					
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男					
	女					
成人麻疹	男					
	女		1	3		4

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

年齢階級別累計表(2001年9週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
～6ヶ月	2			6	7			11									1
～1歳	4			47	8			44				1	2			4	
1歳	29	1	3	102	27	2	1	16			1		6		1	2	
2歳	26	1	4	84	20	1	2				1	3	10			2	
3歳	35	1	8	81	34	3	4	1			1	2	23				
4歳	56		12	106	13	2	3				1		21				
5歳	52	1	9	85	15	1	11			1		1	26		1		
6歳	36		15	100	10		9			1			15			1	
7歳	38		8	73	7		10			1			15				
8歳	34		6	55	2		3					3	6				
9歳	26		4	57	2		3				1	4	3				
10～14歳	111		6	107	2		5	1		2	1	6	8		1		
15～19歳	57		1	33			3						1				
20～29歳	95		10	245	4		1			1	2		6		2	1	
30～39歳	122														3		
40～49歳	33												1		2		
50～59歳	20																
60～69歳	6														1		
70～79歳	4														1		
80歳以上	3																
合計	789	4	86	1181	151	9	55	73	0	6	8	20	142	1	12	10	1
先週比	69	1	6	-47	-23	-4	-9	-4	-2	2	1	15	-6	1	-11	0	1

注：小児科定点把握対照の疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。

眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2001年9週)

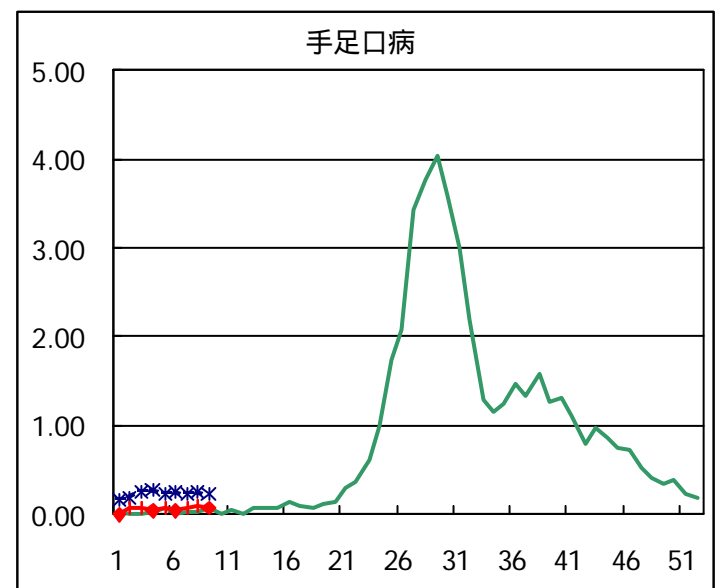
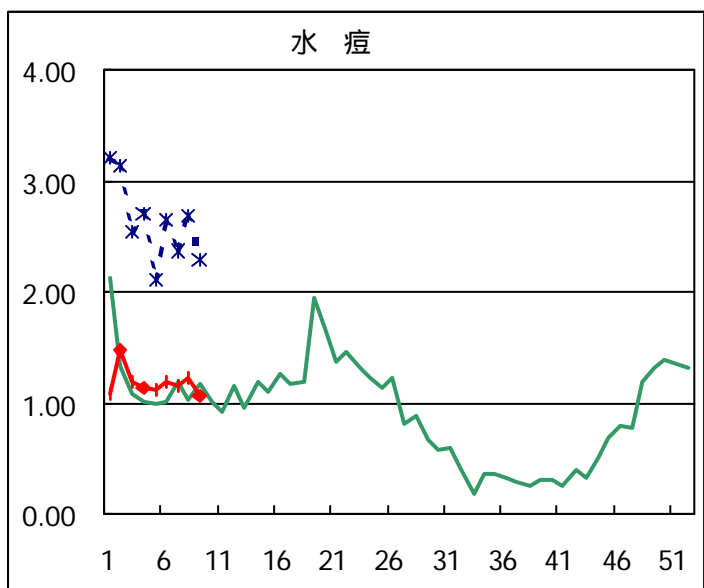
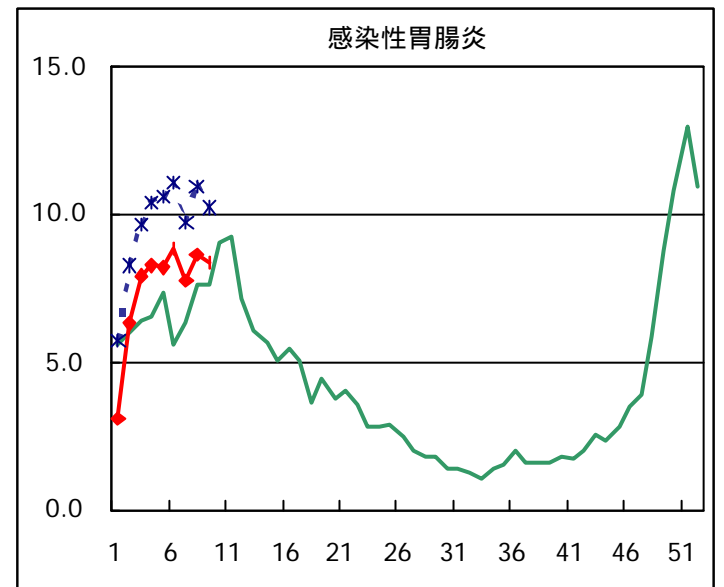
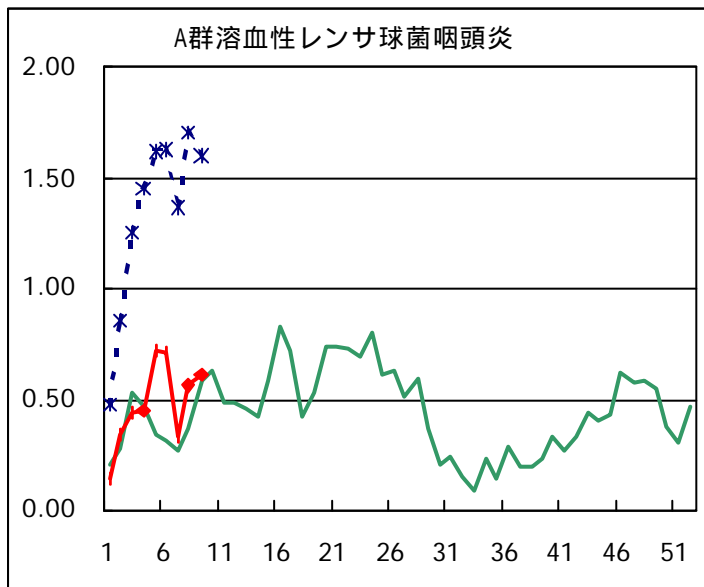
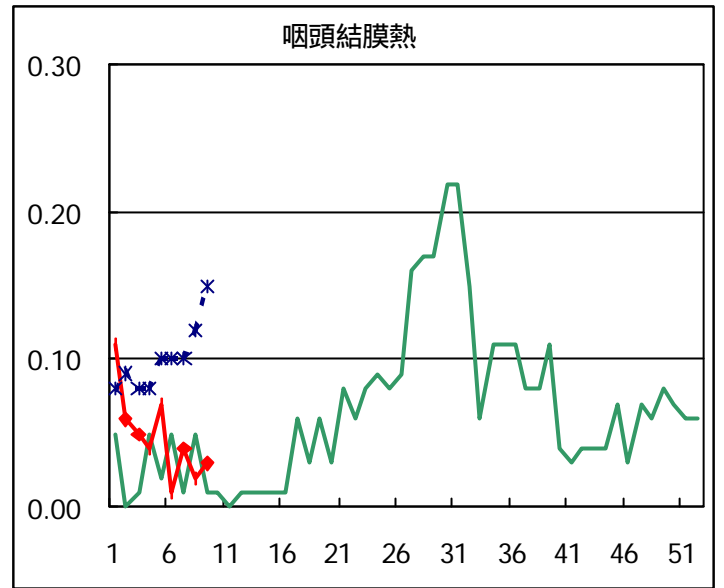
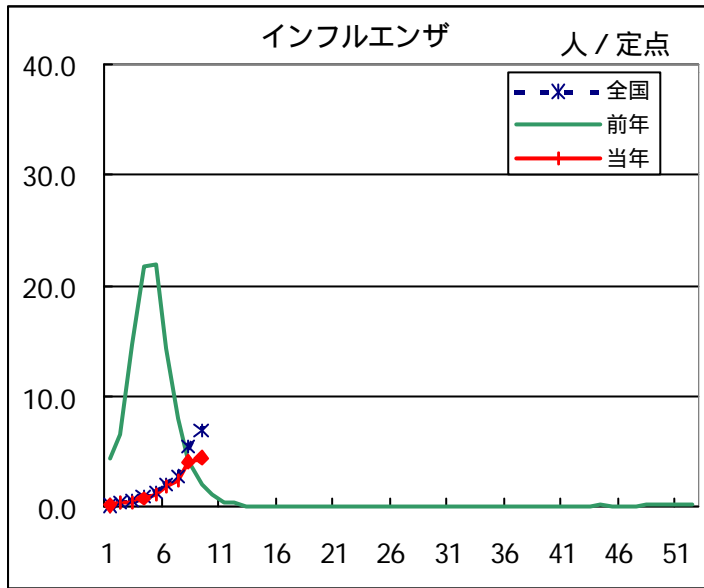
	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
中央	2			3	6			1										12
日本橋				10														10
世田谷	24	2	3	100	9	1	5	2					3					149
渋谷区	27			50	1	1							4	1				84
池袋	2			2				1		1	2				1			9
長崎				6														6
荒川	29			12			1				1				2			45
足立	15		25	31	5		2	3					18					99
葛飾	24		5	25	11		6					1	10					82
江戸川	12		1	50	4		1	2					2					72
小岩	4			14			2	2					5				1	28
台東	18		11	38	3		4	3					8					85
目黒区	4	1		15	1			1								1		23
大田区	38	1	5	78	3		1	9					9			3		147
杉並	17		1	23	2	1	1	1		1			4					51
北区	49		1	28	11		4	9		1			4					107
板橋区	45			20	2		2	3					1					73
みなと	3			5	14										2			24
中野区	30			62	4		1						5					102
新宿区	39		4	136	3		1	2		1			7		1	1		195
品川区	20		1	47	2		4	4					4			2		84
千代田	19			3	1		2					1						26
練馬区	27		3	25	5		1	10				2	8			1		82
文京	28			24	1							1	4		3			61
墨田区	8		2	17	3		1	1										32
江東区	7		3	33	4	4	2						3		1	1		58

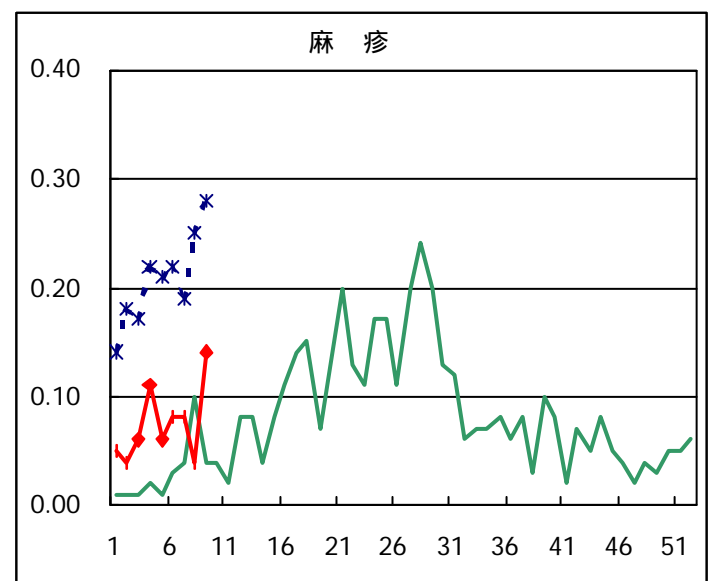
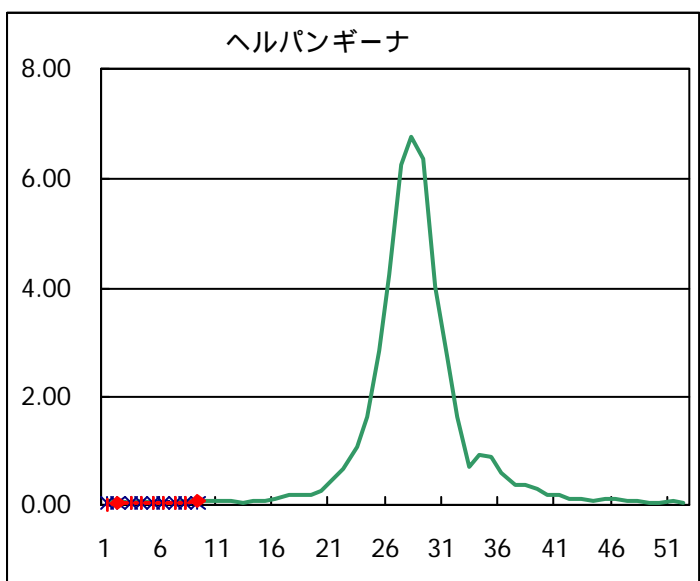
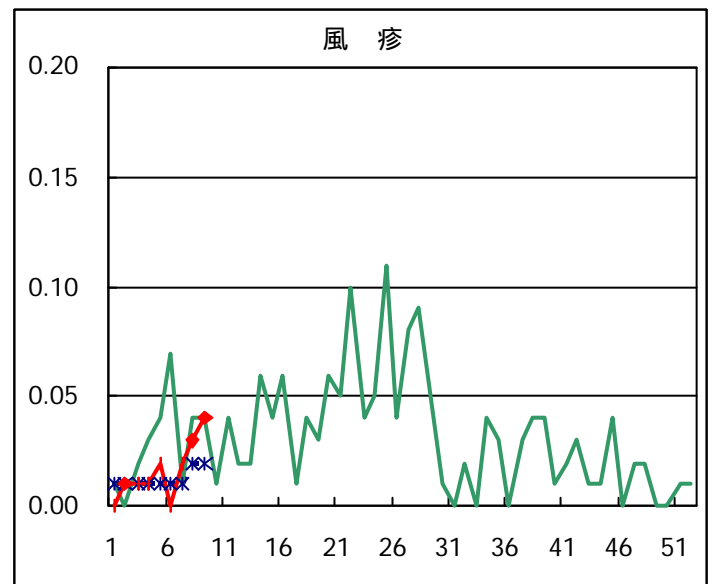
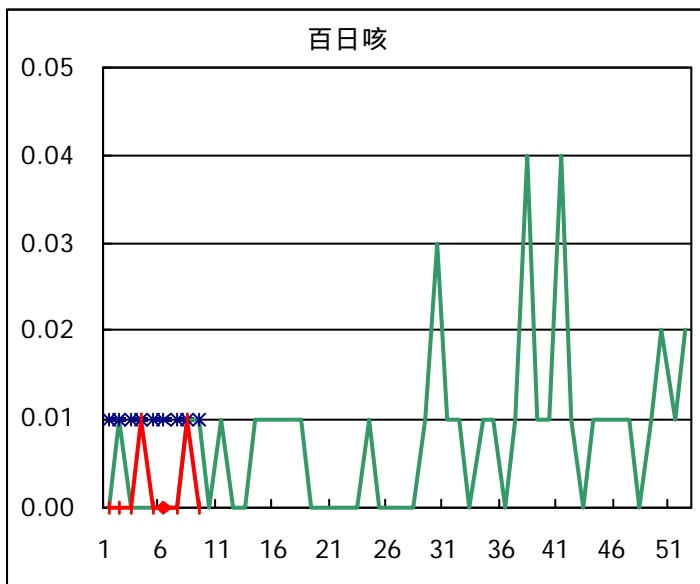
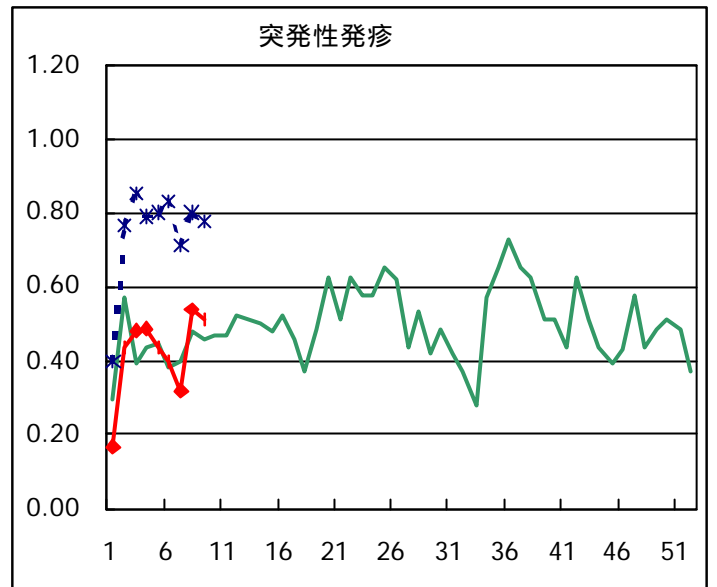
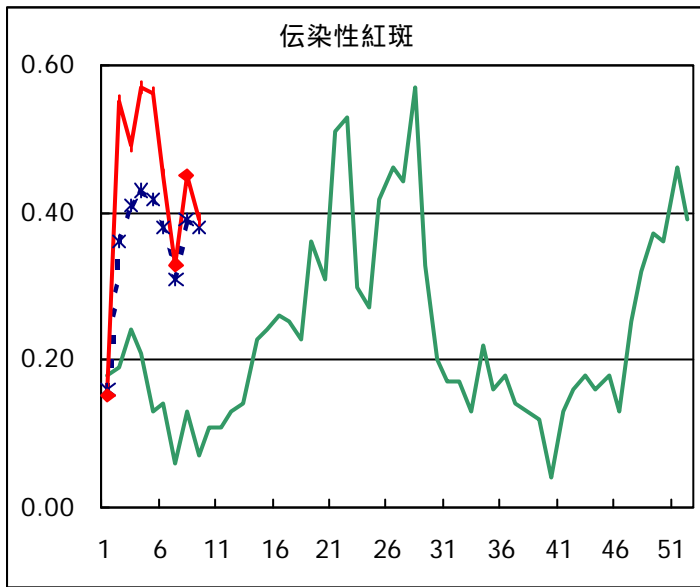
保健所別累計表 (2001年9週)

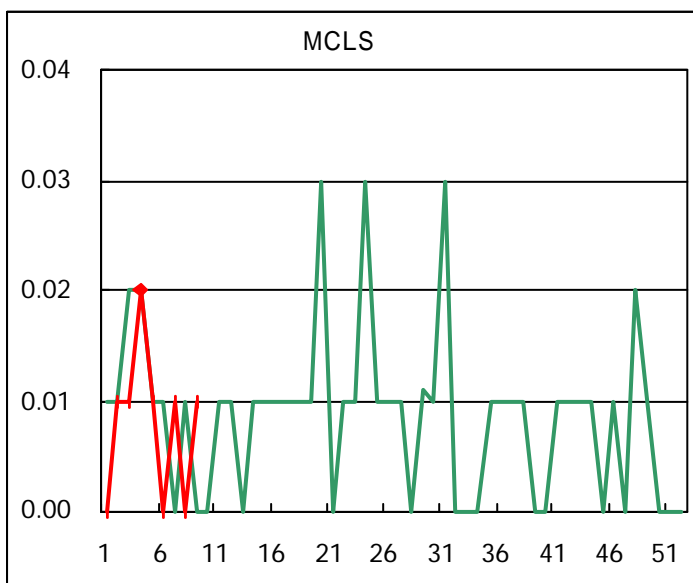
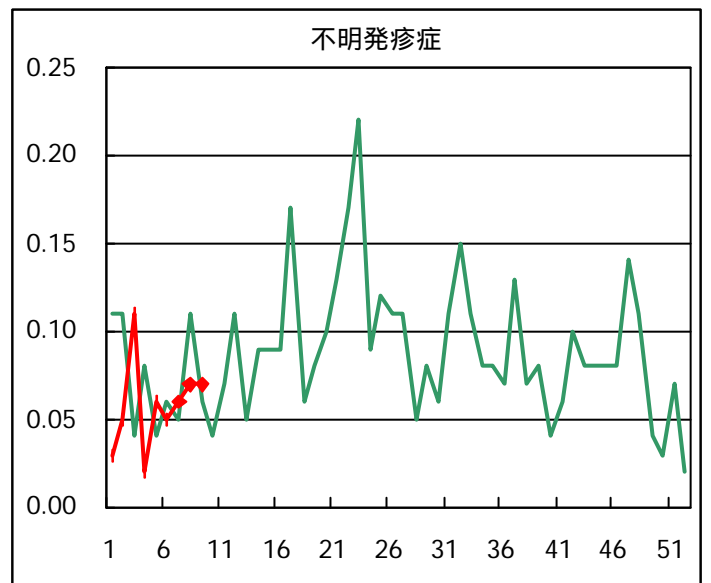
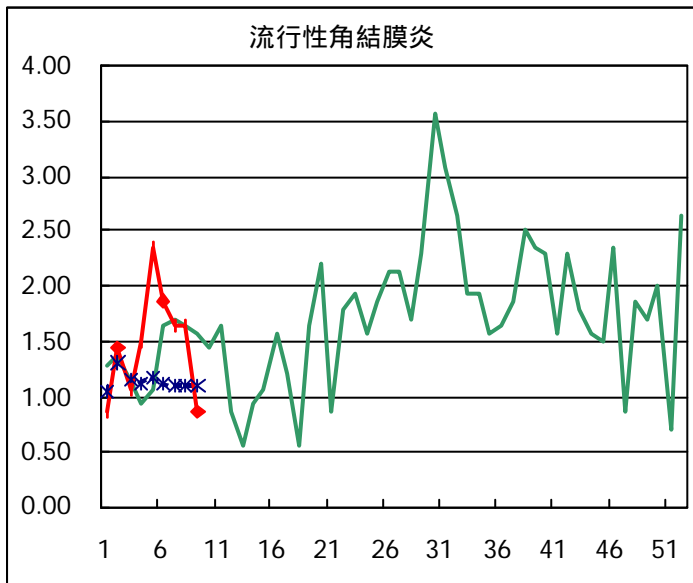
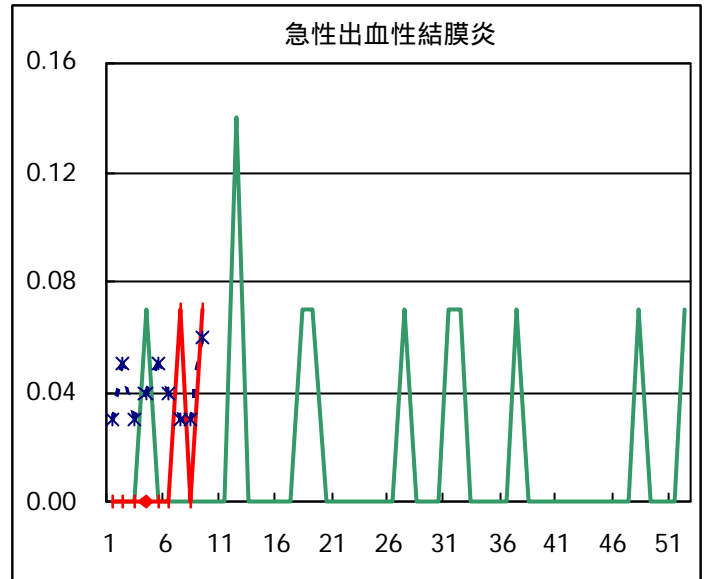
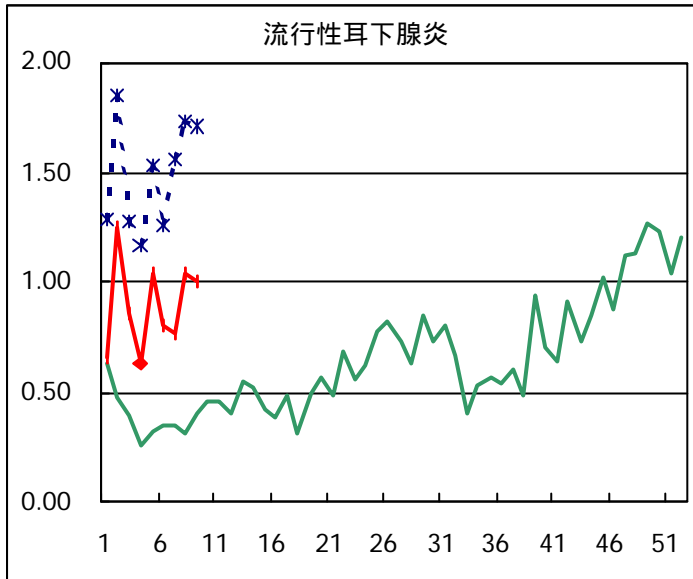
	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
八王子	27			6	6			2				5	2					48
町田	16		3	44	7			3			1					1		75
島しょ	11				5								3					19
多摩川	33			12	6	1		3				4	2					61
秋川	40		4	35	12	1	2	5					8					107
南多摩	23			28			1	1			3	1	9					66
多摩立川	33		2	24	2		3					5						69
村山大和	23		2	13	2								4		2			46
府中小金井	12			12	4			1					8					37
狛江調布	10		3	53				1			1		1					69
三鷹武蔵野	24		2	17	3		3						3					52
多摩小平	36		3	33	2		5						1					80
多摩東村山	10		2	47	7			3		2			2					73

東京都合計	789	4	86	1181	151	9	55	73	-	6	8	20	142	1	12	10	1	2548
定点当り報告数	4.43	0.03	0.61	8.32	1.06	0.06	0.39	0.51	-	0.04	0.06	0.14	1.00	0.07	0.86	0.07	0.01	

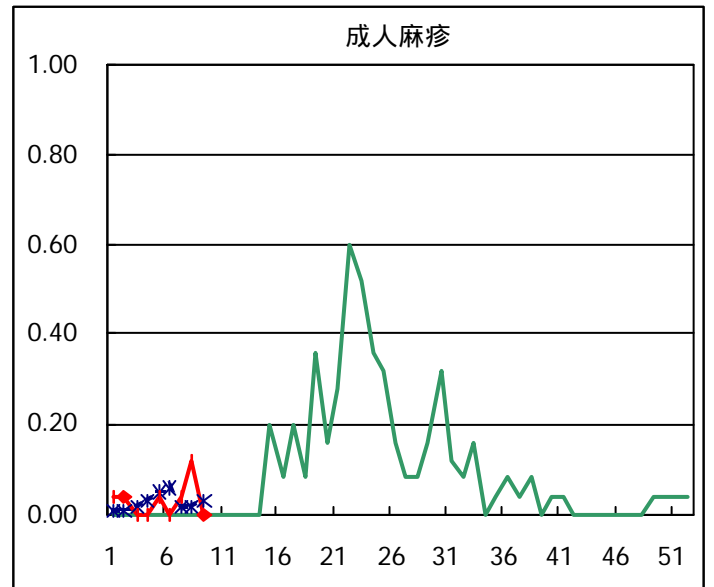
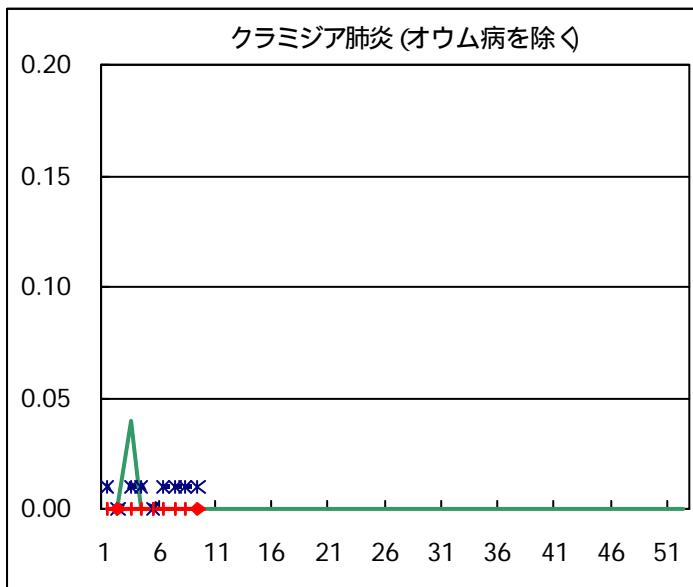
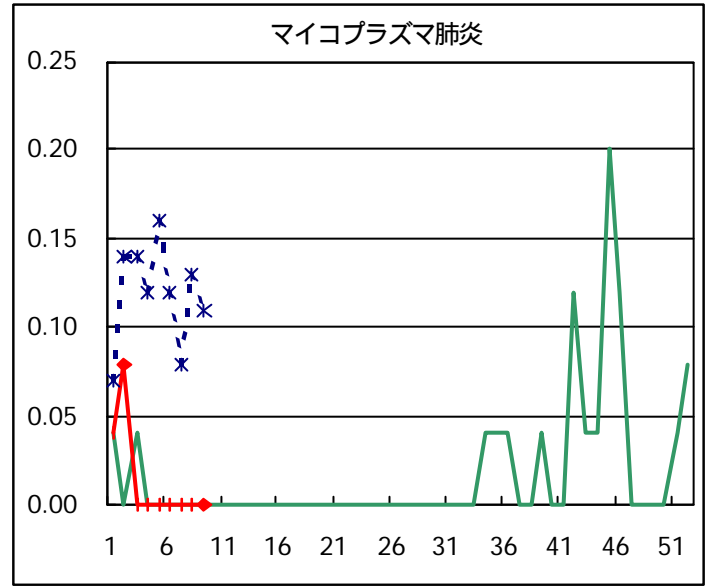
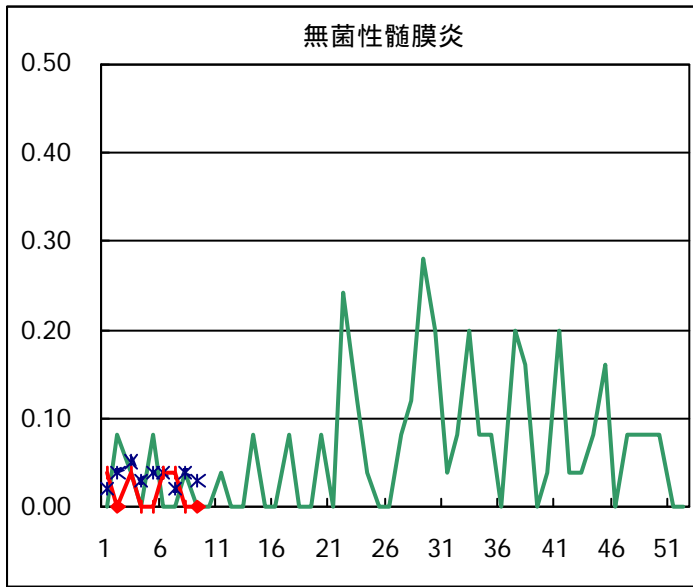
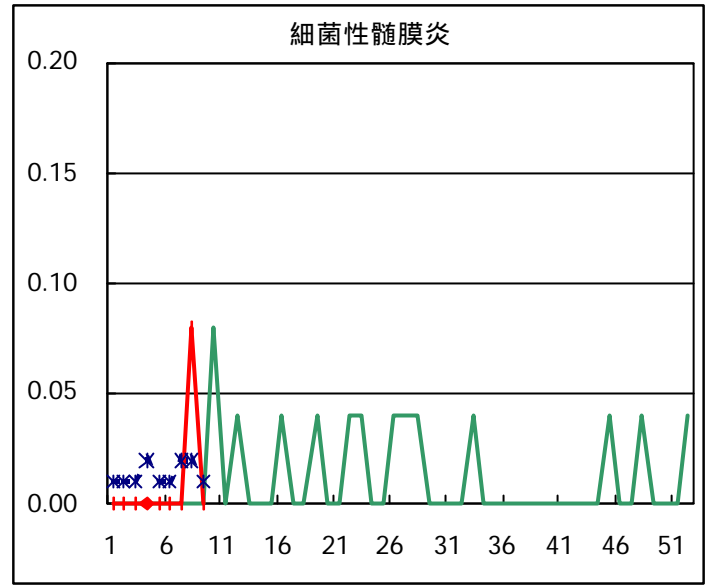
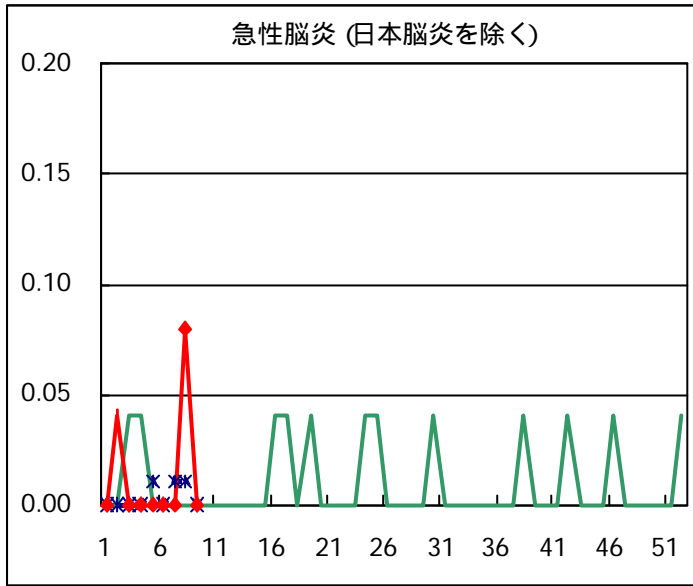
疾病別グラフ







疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	



発生動向総覧（月報告分） 2001年2月分

（性感染症）

性器クラミジア、尖形コンジローム及び淋病様疾患の報告はいずれも前月に比べて減少したが、トリコモナスはやや多い傾向にある。

（基幹定点疾病）

メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性は胃炎球菌感染症および薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はいずれも前月に比べて増加し、前年同期と同程度になった。

調査票通信 2001年2月分 定点医療機関からのコメント月報告分を掲載しました

新宿区

HIV陽性48歳男性、クラミジア感染症合併。風俗の女性から感染。

S T I 保健所別累計表 (2 月)

男								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
中央	1							
日本橋	1			1	2		1	4
渋谷区	4			8		1	10	19
池袋	3		1	22	6	2	2	33
荒川	1							
足立	1			5	1		5	11
台東	5						1	1
大田区	3							
北区	1						1	1
板橋区	2			3	1	2	1	7
みなと	1			12	3	2	7	24
中野区	1			5				5
新宿区	5		2	20	3	8	14	47
品川区	1							
文京	1							
墨田区	1			2			1	3
江東区	2			20	3	3	17	43
八王子	3							
町田	1							
多摩立川	2			2	2	2	6	12
三鷹武蔵野	1		1	7	4	4	6	22
総計	41		4	107	25	24	72	232
定点当り		0.00	0.10	2.61	0.61	0.59	1.76	5.66

女								
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
中央	1							
日本橋	1							
渋谷区	4						1	1
池袋	3			14	4	2	3	23
荒川	1			2				2
足立	1							
台東	5	19		34	20	1	2	76
大田区	3		1		1			2
北区	1							
板橋区	2							
みなと	1						1	1
中野区	1							
新宿区	5	1		27	10	5	7	50
品川区	1							
文京	1							
墨田区	1				1			1
江東区	2			2	3	2	3	10
八王子	3	1		4		2		7
町田	1			1			1	2
多摩立川	2	1		4	1	1	5	12
三鷹武蔵野	1		1	3	5	1	3	13
総計	41	22	2	91	45	14	26	200
定点当り		0.54	0.05	2.22	1.10	0.34	0.63	4.88

STI保健所別定点当り累計表（2月）

男							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	ヘル コンジロー ム	淋病様疾患
中央	1						
日本橋	1			1.00	2.00		1.00
渋谷区	4			2.00		0.25	2.50
池袋	3		0.33	7.33	2.00	0.67	0.67
荒川	1						
足立	1			5.00	1.00		5.00
台東	5						0.20
大田区	3						
北区	1						1.00
板橋区	2			1.50	0.50	1.00	0.50
みなと	1			12.00	3.00	2.00	7.00
中野区	1			5.00			
新宿区	5		0.40	4.00	0.60	1.60	2.80
品川区	1						
文京	1						
墨田区	1			2.00			1.00
江東区	2			10.00	1.50	1.50	8.50
八王子	3						
町田	1						
多摩立川	2			1.00	1.00	1.00	3.00
三鷹武蔵野	1		1.00	7.00	4.00	4.00	6.00

女							
保健所名	定点数	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	ヘル コンジロー ム	淋病様疾患
中央	1						
日本橋	1						
渋谷区	4						0.25
池袋	3			4.67	1.33	0.67	1.00
荒川	1			2.00			
足立	1						
台東	5	3.80		6.80	4.00	0.20	0.40
大田区	3		0.33		0.33		
北区	1						
板橋区	2						
みなと	1						1.00
中野区	1						
新宿区	5	0.20		5.40	2.00	1.00	1.40
品川区	1						
文京	1						
墨田区	1				1.00		
江東区	2			1.00	1.50	1.00	1.50
八王子	3	0.33		1.33		0.67	
町田	1			1.00			1.00
多摩立川	2	0.50		2.00	0.50	0.50	2.50
三鷹武蔵野	1		1.00	3.00	5.00	1.00	3.00

S T I 年齢階級別累計表（2月）

男						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳			2	1	3	3
20～24歳		1	30	4	7	19
25～29歳		1	20	8	7	13
30～34歳		1	20	2	2	12
35～39歳			15	3	2	16
40～44歳		1	6	2	1	5
45～49歳			6		1	
50～54歳			5	1	1	3
55～59歳			2	1		
60～64歳			1	2		1
65～69歳				1		
70～歳						
合計	0	4	107	25	24	72
先月数	0	4	123	30	36	88
増減数	0	0	-16	-5	-12	-16

女						
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	2		9	2	2	5
20～24歳	3	1	35	11	5	9
25～29歳	4		27	10	6	7
30～34歳	1		7	13	1	2
35～39歳	8		8			1
40～44歳	1	1	3	3		1
45～49歳			2	2		1
50～54歳				1		
55～59歳	1			1		
60～64歳	2			1		
65～69歳						
70～歳				1		
合計	22	2	91	45	14	26
先月数	17	2	112	42	14	26
増減数	5	0	-21	3	0	0

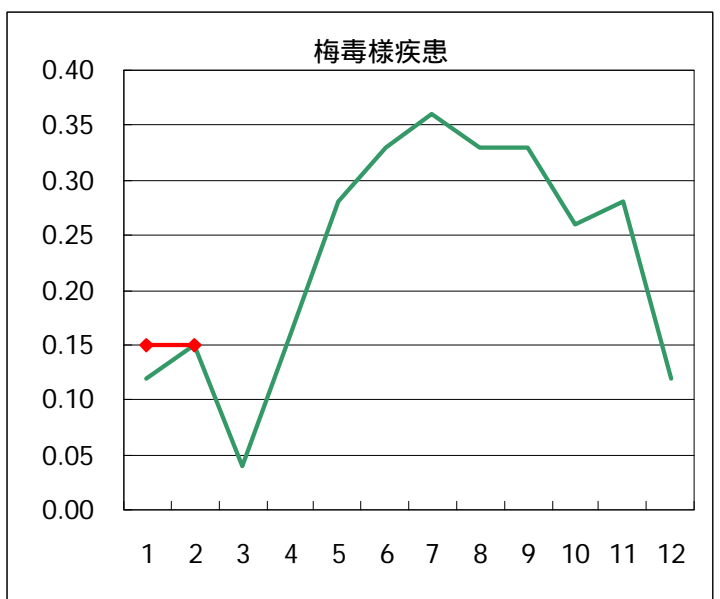
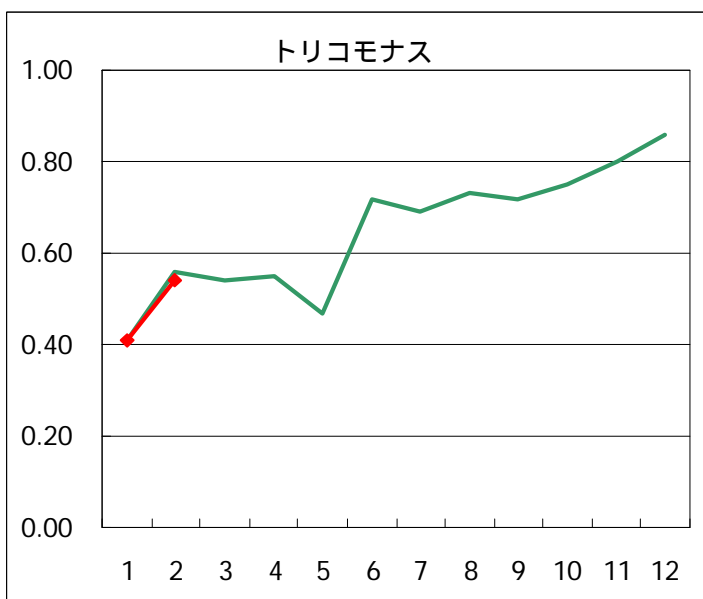
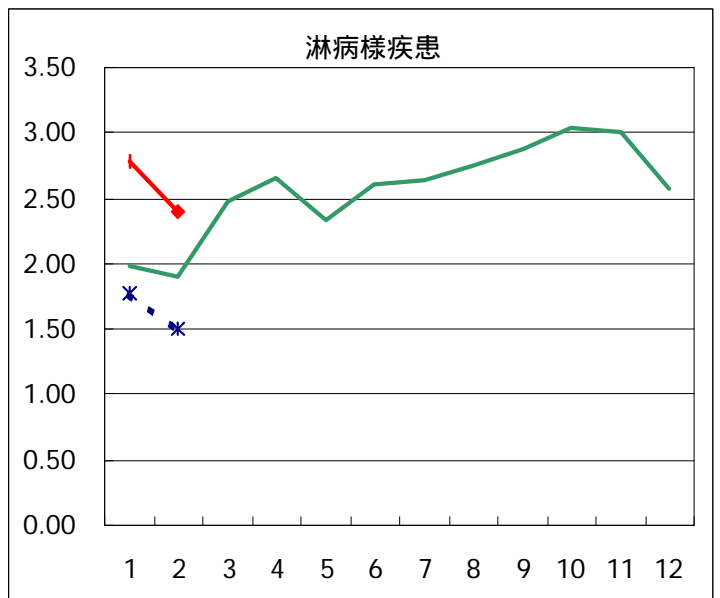
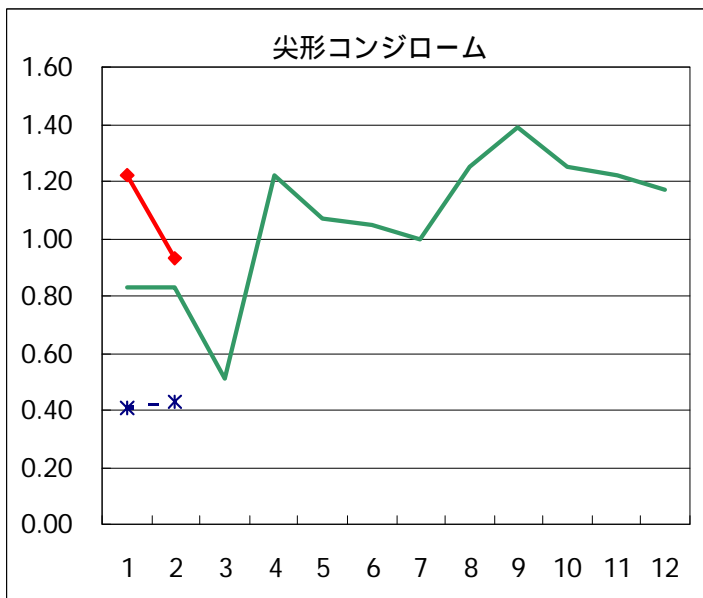
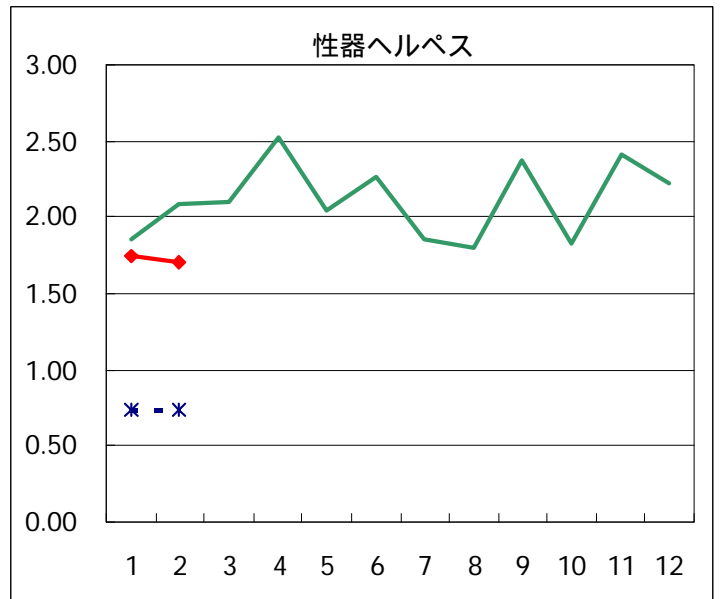
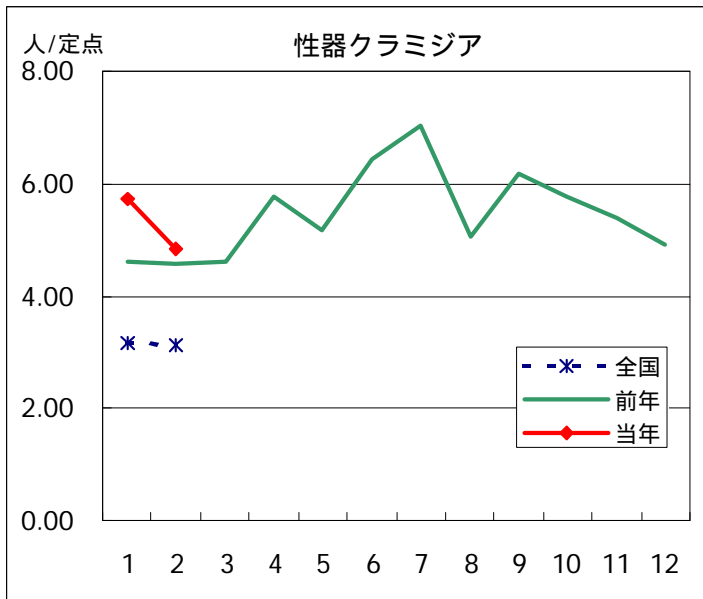
2次医療圏別累計表（平成13年2月） 総計 患者報告数

	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	総計
区中央部	16		50	31	3	16	116
区南部			3	1			4
区西南部			4	1	1	3	9
区西部	1	1	58	9	20	27	116
区西北部		1	44	10	9	14	78
区東北部			7	3		4	14
区東部		1	37	9	14	35	96
西多摩							
南多摩			18	1			19
北多摩西部			6			8	14
北多摩南部		3	8	7	3	7	28
北多摩北部							
島しょ							
計	17	6	235	72	50	114	494

2次医療圏別累計表（平成13年2月） 総計 定点当たり発生数

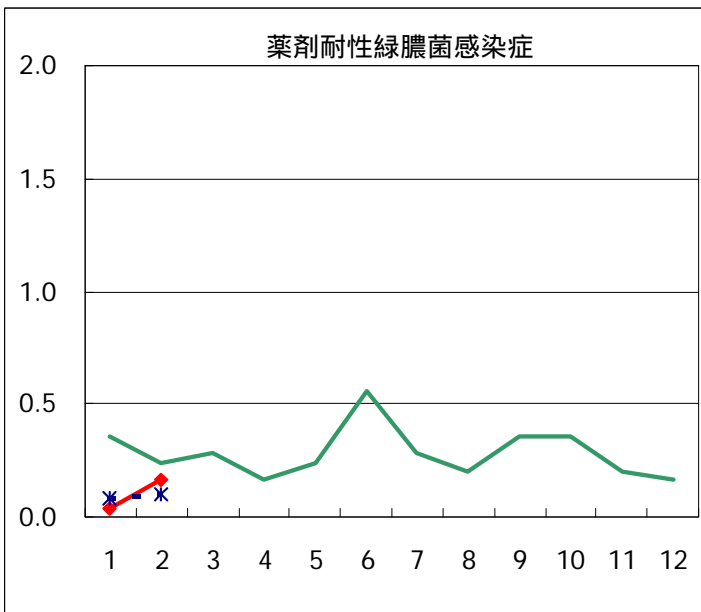
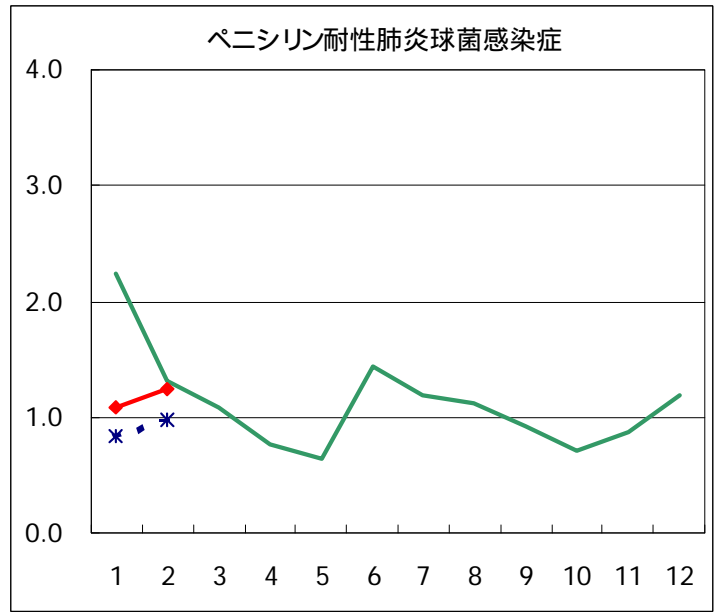
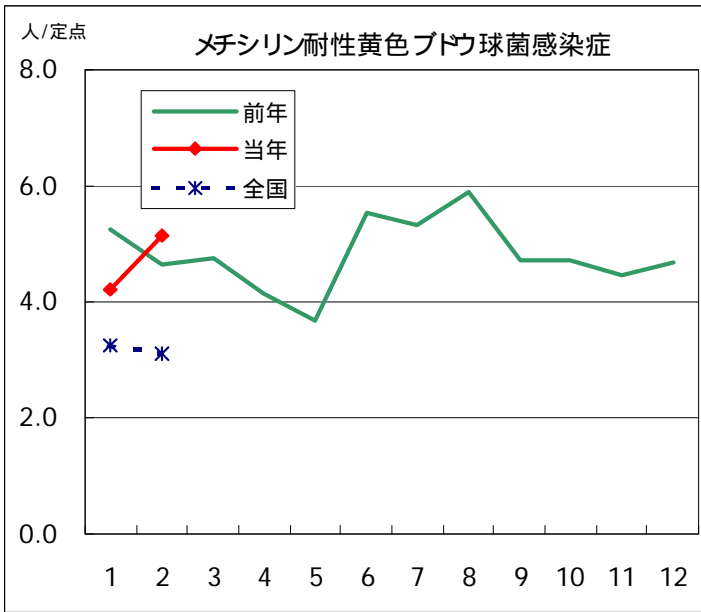
	トリコモナス	梅毒様疾患	性器 クラミジア	性器 ヘルペス	尖形 コンジローム	淋病様疾患	定点数
区中央部	1.60		5.00	3.10	0.30	1.60	10
区南部			0.75	0.25			4
区西南部			1.00	0.25	0.25	0.75	4
区西部	0.17	0.17	9.67	1.50	3.33	4.50	6
区西北部		0.17	7.33	1.67	1.50	2.33	6
区東北部			3.50	1.50		2.00	2
区東部		0.50	18.50	4.50	7.00	17.50	2
西多摩							0
南多摩			4.50	0.25			4
北多摩西部			3.00			4.00	2
北多摩南部		3.00	8.00	7.00	3.00	7.00	1
北多摩北部							0
島しょ							0
計	0.41	0.15	5.73	1.76	1.22	2.78	41

疾病別グラフ



基幹定点報告疾患集計 (2001年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	105	129											234
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	27	31											58
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	4											5



疾 病	医療機関数
梅毒	41
淋菌様疾患	
性器クラミジア	
性器ヘルペス	
尖圭コンジローム	
トリコモナス	25
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	
薬剤耐性緑膿菌感染症	

結核の再感染

東京都医師会感染症予防検討委員会

結核菌に初めて感染したとき、多くは自然治癒するが抵抗力が弱いヒトでは肺門リンパ節結核・粟粒結核などの一次結核を発症する。このとき菌の侵入部位におこる初感染巣は肺野に均等に分布する。これに対して、通常みる肺尖部を中心とした肺結核は、既に感染を受けて結核免疫のできたヒトにおこるので二次結核症と呼ばれる。この二次結核症の発病機序として外来性再感染説と内因性再燃説の二説があったが、これまで後者が有力であった。日本の研究者も、初感染巣から血行性に菌が肺尖に転移して、宿主の免疫が低下した時期を狙って再燃する内因性再燃説をとってきた。これならば既感染者となった医師・看護婦が、結核病棟に長年勤務しても発病を免れている理由を説明できたからである。ところが、近年結核菌の型別を簡単に判断できるRFLP法が普及すると、結核免疫の低下しているAIDS患者では外来性再感染が頻繁に起こっていることがわかってきた。更に新潟県の老人保健施設で起こった集団感染事件では、結核の既往のありそうな老人たちもRFLP法で同一の結核菌の感染を受けていた。つまり結核免疫の極端に低下したヒトでは、外来性再感染が起こりうるということが明らかとなったのだが、それでも二次結核の主流は内因性再燃で、健常人の再感染は希と思われた。ところが南アフリカで、結核治療後に再発したと思われた16人の患者（15人はHIV陰性）についてRFLP分析をしたところ、12人は初回の菌と再発時の菌が異なっていたという。これが特殊な現象か今後の研究に待つとして、再感染を考慮して感染対策をたてなければならない。

（文責：尾形英雄）